

新生児からの未病対策

○保田典子¹⁾、上塚真理²⁾、亀井 勉³⁾

1) 東京衛生病院小児科 2) 株式会社D-solution 3) (一社)健康促進・未病改善医学会

【はじめに】

子供の健康を守る為には小児からの未病対策が有効である。昨今、日本人の生活背景の変化や食生活の欧米化等により母親の母乳育児やその意識が変わりつつある。今回、母乳が小児に与える影響とその成分の重要性について報告する。

【方法】

食事の指標となる「日本人の食事摂取基準」の過去のデータ、最新のデータ及びにそこでの現場研究を元に、これまでの健康栄養研究に科学的根拠をプラスしてデータ解析を行った。さらに、厚生労働省の調査結果には母親の96.1%が母乳育児を希望しているにも関わらず、48.1%の母親が母乳に関して悩みや不安があると回答していた。そこで、母乳の悩みや不安の理由についても解析した。

【結果と考察】

母乳は母親が摂取した栄養で作られる為、母親の栄養状態や食事内容がとても大切と言える。しかし、2000年代に入ってからビタミンDの欠乏による乳幼児の低カルシウム血症やくる病が増えているというデータもあり、その背景には母乳栄養や日光浴不足、

食事の偏りがあると考えられる。母乳の中には人工乳に多く含まれているビタミンDがあまり含まれていない為、母親が意識的に摂取する必要がある。また、食事背景の変化により、昔は日本人の母乳から多く検出されたDHAやEPAの量も今は少なくなっている。これらの現状を母親に伝え、母乳の成分バランスを整え、小児の未病対策に繋げるべきだと考える。「母乳+」サプリメント(株式会社D-solution)は現代の母親の栄養摂取で不足しがちなビタミンD、DHA・EPAが含まれており、さらにビタミンBやビタミンDといった赤ちゃんで不足しやすい栄養素が含まれており、母親の母乳栄養の悩みを解決するサプリメントであると考えられる。

【おわりに】

私達は母乳に関する情報発信、母乳に含まれる成分のサポートをすることで、社会背景や食事背景により、バランスの良い栄養摂取が難しいと感じている母親や栄養知識等に不安を感じている母親の味方になり、母親にとっても赤ちゃんにとっても良い影響を与えられたと考える。その一つの手段として「母乳+」は母乳育児の母親とその赤ちゃんに貢献し、小児の未病対策に繋がると期待する。